

学校名 青瀬小学校 校長名 本田 洋一 印

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評価(数値平均)	対策・改善点		評価(数値平均)	主な意見			
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	平均	○総会、家庭教育学級、学校便り等機をとらえて伝える努力はされていると思うが、参加しない、読まない保護者もいるように思う。 ○年度始めにPTA等で説明され、その後も継続して様々な行事等で話されていることが効果をもたらしている。	段階	人数	平均	○地域の掲示板や公共の待合室等に掲示され周知されている。 ○今の取組を堅持されたたい。
			A	3	3.6		A	6	3.8	
			B	2			B	2		
			C				C			
D		D								
2	(1)	望ましい子どもの姿(学力・体力・知力)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	平均	○数値化できないものもある。 ○分かり易く評価し易い目標設定にすることで、反省点・改善点を明らかにすることができている。	段階	人数	平均	○学力のばらつきに配慮し、切れ目のないフォローアップに全職員で挑戦してほしい。
			A	3	3.6		A	2	3.3	
			B	2			B	6		
			C				C			
D		D								
3	(2)	子どもたちは、楽しそうに生き生きと学校生活をおくっている。	段階	人数	平均	○高学年になると学習、運動等努力を要する点も多く、大変そうなおももある。 ○学校生活に満足し、明日に期待がもてるような学級経営に努めている。 ○毎日元気に登校し、早朝トレーニングを頑張っている。	段階	人数	平均	○学校の雰囲気が素晴らしい。
			A	3	3.6		A	3	3.4	
			B	2			B	5		
			C				C			
D		D								
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均	○特に問題はないが、発生前の取組が必要であると考える。 ○いじめアンケート等の結果を生かす指導を行っているが、現状としてはいじめ・不登校は現れていない。 ○いじめアンケートの結果や子どもたちの行動等について連絡会で話し、共通理解ができていた。 ○生徒指導上の問題は全職員で共通理解し、同じように指導できていると思う。	段階	人数	平均	○「叱る」ことを避けずに、駄目なものは駄目!としっかり悟らせる毅然とした先生方の姿勢を今後も継続してほしい。
			A	4	3.6		A	5	3.6	
			B				B	3		
			C	1			C			
D		D								
5	(3)	子どもたちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意をはらっている。	段階	人数	平均	○避難訓練の反省を踏まえ、あらゆることを想定して教職員同士で共通理解を図っている。	段階	人数	平均	○子ども自身が自己判断で素早く行動し、安全を確保する能力の向上を期待する。
			A	4	3.8		A	6	3.8	
			B	1			B	2		
			C				C			
D		D								
6	(4)	教職員は、子どもや保護者、地域との望ましい関係を築いている。	段階	人数	平均	○望ましい関係を築いていると思っている。 ○地域行事等にも積極的に参加してつながりを築いていると思う。	段階	人数	平均	○地域に密着した行動が信用信頼の基であることを自覚して行動することを期待する。
			A	3	3.6		A	3	3.4	
			B	2			B	5		
			C				C			
D		D								
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑にかまれている。	段階	人数	平均	○掃除時間等に全校で取り組んでいるが、少人数のために行き届かないところもある。 ○学校主事を中心に花壇の整理を行っている。清掃時間等全児童・職員で協力して取り組んでいる。	段階	人数	平均	○今の取組を継続し、環境が子どもの成長を育んでいる力を活用してほしい。
			A	2	3.4		A	3	3.4	
			B	3			B	5		
			C				C			
D		D								
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。	段階	人数	平均	○定期的な安全点検や日常での気づきが安全維持につながっていると思う。 ○安全点検では全職員で取り組み、木槌等で1つ1つ叩いて確かめている。	段階	人数	平均	○今の取組を継続してほしい。 ○遊具の点検には最善の注意をはらってほしい。
			A	5	4.0		A	6	3.8	
			B				B	2		
			C				C			
D		D								
9	(7)	子どもたちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均	○少人数で難しい面があると思う。 ○通常のお知らせに加え、行事等での児童の参観が大切だと思う。 ○様々な行事に地域の方も参加くださり、子どもたちの実態を見てくださっていると思う。	段階	人数	平均	○伸ばすところや一歩進んで頑張ることなど、子どもと保護者に伝わる努力をしてほしい。
			A	1	3.0		A	1	3.1	
			B	3			B	7		
			C	1			C			
D		D								
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	○今年度は特に閉校ということもあり、温かい思いや言葉を頂き、ありがたい。 ○地域の方々を招いた学校行事もたくさん参加され、子どもたちが楽しい時間を過ごせていた。	段階	人数	平均	○高齢者の多い地域だが学校教育への理解と参加意欲の高い。今後も呼びかけや周知の継続をお願いしたい。
			A	4	3.8		A	7	3.9	
			B	1			B	1		
			C				C			
D		D								

様式3 平成23年度 学校関係者評価評価結果

No. 2

学 校 名
青瀬小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			対策・改善点	学校関係者評価委員による評価(集約)							
			評定(数値平均)				評定(数値平均)							
			段階	人数	平均				段階	人数	平均	主な意見		
11	(6)	小中一貫教育は、積極的に実践されている。	A	3	3.6	○これ以上の交流は、時間的に難しいと思われる。 ○中学校教諭が授業したり他校と合同授業したり交流を深めている。 ○中期部会の取組がよくなされている。	A	5	3.6	○異年齢交流は、子どもの成長に素晴らしい効果を発揮するので、今後も継続してほしい。				
			B	2			B	3						
			C				C							
			D				D							
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子どもたちに夢や元気を与えてくれている。	A	4	3.8	○元気塾に影響を受けている児童が少なからずいる。 ○初めて出会う仕事やどのようなことを実際するか等子どもの興味・関心を上手につかんでいる。	A	7	3.9	○テレビや雑誌などより直に接することによる心の躍動は、子どものステップアップの大きな力になる。				
			B	1			B	1						
			C				C							
			D				D							
13	(6)	英語教育の推進について、小・中学校の特質を活かして充実が図られている。	A	3	3.6	○ALT、GTとの英語活動の授業がスムーズに行われている。ALTのMr. Ricも短い期間によくとけ込んでいる。	A	4	3.4	○言語は繰り返し「聞く・話す」ことが意志の伝達力を高めるので、ALTの活用を積極的に行ってほしい。				
			B	2			B	3						
			C				C	1						
			D				D							
14	(8)		A		#DIV/0!		A		#DIV/0!					
			B				B							
			C				C							
			D				D							
15	(8)		A		#DIV/0!		A		#DIV/0!					
			B				B							
			C				C							
			D				D							

↑A=4点, B=3点, C=2点, D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点, B=3点, C=2点, D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

メモ

○閉校まで1年という年の真ん中の2学期、行事等も多く、求められることも多い子どもたちは大変であったと思う。しかしながら、高学年の子どもたちのプレッシャーに耐えながら前向きによく努力し、やり遂げた姿に対して、担任として嬉しく思う。

○実態に応じて子どもたちが満足して登下校ができる学校づくりができていていると思う。また、その学校づくりに必要な保護者の協力・理解も十分に得られていると思う。